

一般質問通告書

2025年11月26日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 2番 松木 純子

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初回は 1. 全項目一括質問一括答弁
 2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 1) 発言事項	マキノ西浜産業用地開発について
要旨（項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。）	
マキノ西浜地先、約17haの広大な土地について、産業用地開発事業の計画が進められています。 企業のニーズ調査結果は11月18日の全員協議会で示されました。調査は1123社に送付し、回答数86社、回答率は7.7%でした。	
この調査は顧客の潜在的なニーズを把握する可能性もありますが、主な目的は需要の有無を確認することです。現時点では企業が実際に進出するかどうかは不透明です。一方で、マキノ地域の住民の中には、既に企業誘致が決まっていると誤解している声もあり、市民には正確な情報を知っていただくことが大切と考えています。	
この事業は県主導での事業で進められていますが市の財政負担も多額になることを考えますと、開発が行われた後に、分譲地の長期的な放置などがないように今後も、情報周知と多角的な角度からこの事業を考えていく必要があると思っています。	
議員必携の中に、こう記されています 「予算が堅実なものでなければ、日頃、いかに住民の福祉向上を	

叫び、町づくりの理想を掲げても、その実現は難しいばかりか、こうした不健全な状態が続くと財政自体が行き詰まり、新しい事業は一切できなくなって、活発な行政の展開を計画的に行うことは不可能となる。

したがって、堅実な予算を作成することが何よりも大切なことであって、編成に当たる町村長も、審議し確定させる議会も、特に留意しなければならない」とあります。いちご農園問題も未だ解決の見通しさえ出されていない高島市政に市民の目は厳しいと思います。

産業用地開発予定地は、「高島市海津・西浜・知内の水辺景観」保存活用事業報告書にも記載があり重要的文化的景観にも関連する重要な地域になります。しかし耕作放棄地が増え、良好な湿地環境はこの数年で大きく悪化しました。高島市は第2次総合計画の中で高島の豊かな自然環境の魅力を守り、活用し発展させていくことが、次世代に向けての責任」としています。本当の自然を残す地球共創の時代、それこそが持続可能な未来の創造、未来に何を残すのか21世紀の大きな転換期に来ています。

そこで以下の点について伺います。

- ①物価高騰もあるなか、造成費について高島市の負担金が13億円と伺っておりますが、こちらの試算はいつの時点で行われたものか伺います。
- ②造成予定地を視察したところ、かなりの湿地帯であり、山から流れる川や湧き水が豊富である。そのことが造成費の増額につながる可能性はあるのか伺います。
- ③まずは準工業地域の9haを造成し、ニーズに応じて段階的に開発することの考えはあるか伺います。
- ④土地取得に関して地権者から合意を得られるための調査などの進捗状況について伺います。
- ⑤同僚議員からも以前の一般質問で問わされていましたが、開発行為を伴う企業誘致の際に環境への配慮について、再度伺います。